

代表者名	網 幸 太	所 管 部 課 名	農林水産部林業木材産業課
所 在 地	能代市字海詠坂 1 1 番地の 1	設 立 年 月 日	平成 4 年 9 月 1 7 日

【沿革及び県の出捐理由】

木材高度加工研究所の研究成果を、木材業界へ円滑に移転するための機関として、秋田県、能代市、秋田県木材産業協同組合連合会等の出捐により平成 4 年 9 月 1 7 日設立。平成 7 年 4 月研究所設置時に、研究所内に併設。

【出捐者】（24年度当初）

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	300,000	50.0
市町村	1	151,000	25.2
その他	230	149,000	24.8
計	232	600,000	100.0

【事業】

①主たる業務

1. 情報提供事業
2. 技術研修事業
3. 技術指導・移転事業
4. 各種性能試験

②事業実績

(件)

事業名等	21年度	22年度	23年度
技術相談件数	125	99	109
コンサルタント巡回指導	4	5	4
各種性能試験	105	116	62

③23年度事業概要及び24年度事業計画・目標

◎平成23年度事業概要 ○情報提供事業：情報誌発行3回、講演会開催等2回○技術研修事業：研修会開催2回○技術移転指導事業：技術相談109件、現地指導4社、企業訪問104回○依頼試験等事業：依頼試験62件○木を学ぶ建築講座開設事業6回
◎平成24年度事業計画 ○木材高度加工研究所の研究成果等の情報提供○企業の技術開発活動の支援○木材関連製品の性能表示等のための依頼試験対応

【組織】

①役員数 (H24. 7. 1現在) (人)

	理 事	監 事
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員	1	
非常勤	15	2
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	16	2
内、県関係者	2	

②職員数 (H24. 4. 1現在) (人)

正職員	平均年齢	正職員	正職員
内、県退職者	歳	平均年齢	平均勤続年数
内、県職員	歳	年	年
3			
2			
3			
内、県退職者		正職員平均年収	
計	6		千円
内、県関係者	2		

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

【財務】

①損益状況 (23年度) (千円)

	金 額
経常収入 A	23,298
受託事業収入	6,327
補助金収入	2,541
自主事業収入	3,457
運用益収入	10,069
その他	904
経常支出 B	30,698
人件費	15,314
その他	15,384
経常損益 C = A - B	△ 7,400
経常外収入	
経常外支出	
諸税	82
当期損益	△ 7,482

②財務状況 (23年度末) (千円、%)

	金 額	構 成 比
流動資産	10,255	1.7
固定資産	600,144	98.3
資産計	610,399	100.0
流動負債	2,417	0.4
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	2,417	0.4
基本金	600,000	98.3
剰余金	7,982	1.3
正味財産計	607,982	99.6
負債・正味財産計	610,399	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	0	0	

【県の財政支出】

(千円)

	21年度	22年度	23年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	946	946	650	木材産業体質強化推進指導事業
委託費	2,874	2,416	2,799	木を学ぶ建築講座開設事業、乾燥技術力向上支援事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	21年度	22年度	23年度	21-22増減	22-23増減
健全 展 性	自己資本比率	%	99.47	99.64	99.60	0.17	△ 0.04
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	689.59	782.15	424.29	92.56	△ 357.86
	経常収入額	千円	67,787	26,873	23,298	△ 40,914	△ 3,575
効 率 性	剰余金(△欠損金)	千円	19,571	15,465	7,982	△ 4,106	△ 7,483
	総資本利益率	%	0.17	△ 0.65	△ 1.21	△ 0.82	△ 0.56
	職員1人当たり経常収入	千円	13,557	5,375	3,883	△ 8,182	△ 1,492
	人件費比率	%	15.40	53.96	65.73	38.56	11.77

2 経営目標の達成状況

経営目標			21年度	22年度	23年度	24年度
経営 改 善 指 標	事業収入(千円)	目標	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績	9,348	10,461	3,457	
事業 成 果 指 標	管理費率(%)	目標	10	10	10	50
		実績	19	52	57	
事業 成 果 指 標	企業訪問・指導件数(件)	目標	120	120	120	120
		実績	125	110	108	
事業 成 果 指 標	依頼試験件数(件)	目標	90	90	90	90
		実績	105	116	62	
顧客満足度指数	目標		85	85	85	85
	実績		83	88	84	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

平成23年度決算は△7,482千円で、2期連続の赤字となり、また前期よりも赤字額が大きくなった。赤字が増えた原因としては、収入の柱となっている依頼試験事業収入が前期よりも大幅減となったことであるが、依頼試験の減少は業界の景気低迷の影響等が考えられるので、直接的な対策は難しい。また、管理費も前期より増えているが、年度途中でスタッフ1名を新たに雇用したことが要因となっている。しかし、スタッフの増員は依頼試験対応を万全とするために必要な措置であるため、いかにして管理費の縮減を図るかが課題となる。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>
顧客満足度調査については、内訳を見ると、依頼試験の利用料金のみ極端に点数が悪くなっているが、他の機関よりは料金設定が安いことをPRして、満足度の向上を図りたい。

4 総合評価(計算書類等の資料及びヒアリングによる評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> 依頼試験事業の件数減少により、同事業収支が2百万円悪化したことに加えて、試験スタッフ1名増員による人件費増加に伴い、当年度は経常損失7百万円となった。 一般正味財産期末残高が7百万円まで減少し、このまま経常損失が継続すると、一般正味財産がマイナスとなり、基本財産の取崩を迫られる事態も想定される。 <p><早期の改善が望まれる事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 年間収支が赤字である事業については、事業の在り方を見直し、法人全体の収支構造を再構築する必要がある。 	